

男1 静岡県 vs 東京都A

開催場所	東京体育館TD	開始時間/終了時間
試合区分	男1	主審
開催期日	2017年03月29日	副審

静岡県	28	6	1st	12	54	東京都A
		4	2nd	13		
		9	3rd	11		
		9	4th	18		

テーブルレポート

静岡県

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	後藤 陸人	2	0	1	0	2
5		杉本 晋作	4	1	0	1	1
6		大城 和也	3	0	1	1	1
7	*	和田 柁大	1	0	0	1	2
8		川崎 耕平	0	0	0	0	0
9		玉木 俊介	0	0	0	0	3
10		前田 晃希	4	0	1	2	1
11	*	葉山 隆城	4	0	1	2	4
12	*	中川 啓人	2	0	1	0	1
13		吉行 正秀	0	0	0	0	1
14		間山 柁	0	0	0	0	2
15	*	木村 駿太	8	0	4	0	2
HC 小林 義晃/ TEAM							0
合計			28	3	18	7	20

東京都A

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		新井 翔太	0	0	0	0	0
5	*	大柳 慶悟	16	0	6	4	1
6		前田 来飛	0	0	0	0	2
7		小森 颯太	5	1	0	2	0
8		櫻井 椋介	4	0	2	0	3
9		潮田 操一郎	2	0	1	0	0
10	*	秋元 太陽	10	0	4	2	3
11	*	木村 三皇	3	1	0	0	0
12		富田 凌	0	0	0	0	2
13	*	武笠 玲輝	1	0	0	1	1
14	*	齊藤 翔吾	9	0	4	1	4
15		浅野 ケニー	4	0	1	2	0
HC 森 圭司/ TEAM							0
合計			54	6	36	12	16

S スターター PTS 総得点 3P 3ポイントシュート 2P 2ポイントシュート FT フリースロー F ファウル

レポート

静岡県と東京Aのベスト8をかけた戦い。第1ピリオドは、お互いに固いディフェンスでロースコアゲームが続く。東京Aは#10を中心に自分たちのバスケットを作る。静岡県はズレを作って縦に切り込むが、東京Aのゴール下を破れない。6-12、東京Aリードで第1ピリオド終了。

第2ピリオドに入り、流れが東京Aに傾く。その要因になったのは、#5、#11、インサイド陣のリバウンド・ルーズボール。こぼれ球を何度もマイボールにすることで、点数を増やしていく。一方、静岡県は、東京Aにルーズボールを圧倒され、加点できない。結果25-10、東京Aリードでハーフタイムを迎える。

第3ピリオドは静岡県ペース。東京Aのルーズボールに対応し、少しずつ突破していく。東京Aはファールも多くなり、流れが静岡県に傾く。更に静岡県は、ディフェンスのプレッシャーを強め、逆転を狙う。東京Aは、メンバーを変えながら対応し、試合が進んでいく。第3ピリオド終了。19-36東京Aリード。

最終ピリオドに入っても、試合全体の状況は変わらず、そのまま38-54で東京Aがベスト8に進出した。東京Aの献身的なルーズボールが最後まで印象的な試合だった。その差が勝敗の決め手となった。